

4 - 5 伊豆大島地方の上下変動

Crustal Movements in the Izu-Oshima Island

国土地理院

Geographical Survey Institute

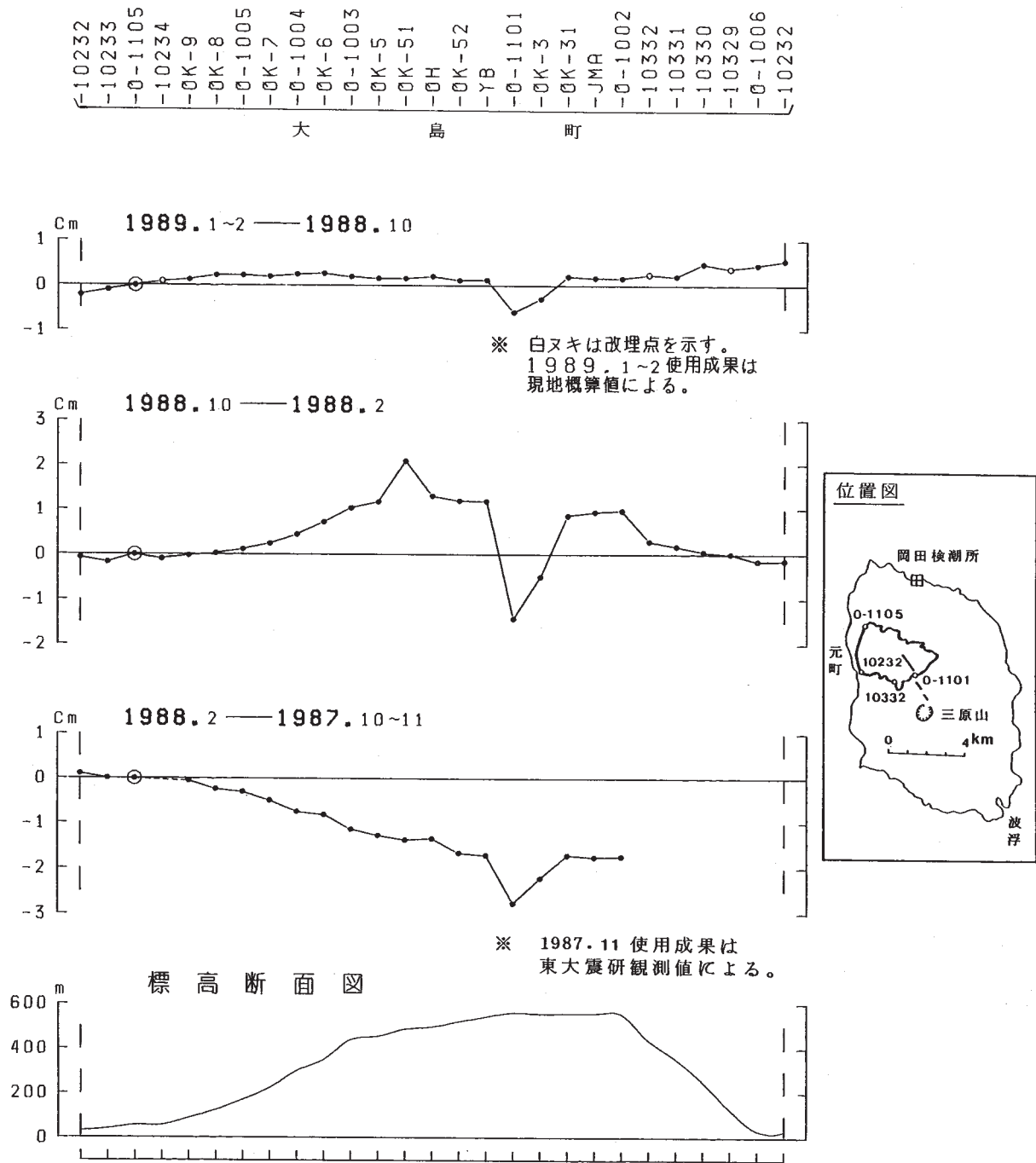
第1図は、元町から御神火茶屋にいたる三原山登山路線の上下変動である。1988年10月以降の変動は小さい。

第2図は、岡田と相模湾周辺の験潮場間の月平均潮位差である。1988年後半岡田の潮位が油壺・布良にたいして上昇しているが、南伊豆との間には変化がみられないことから、海象の影響であろう。

第3図は、GPS測量の結果である。1988年2月から12月の間誤差を越える変化は認められない。

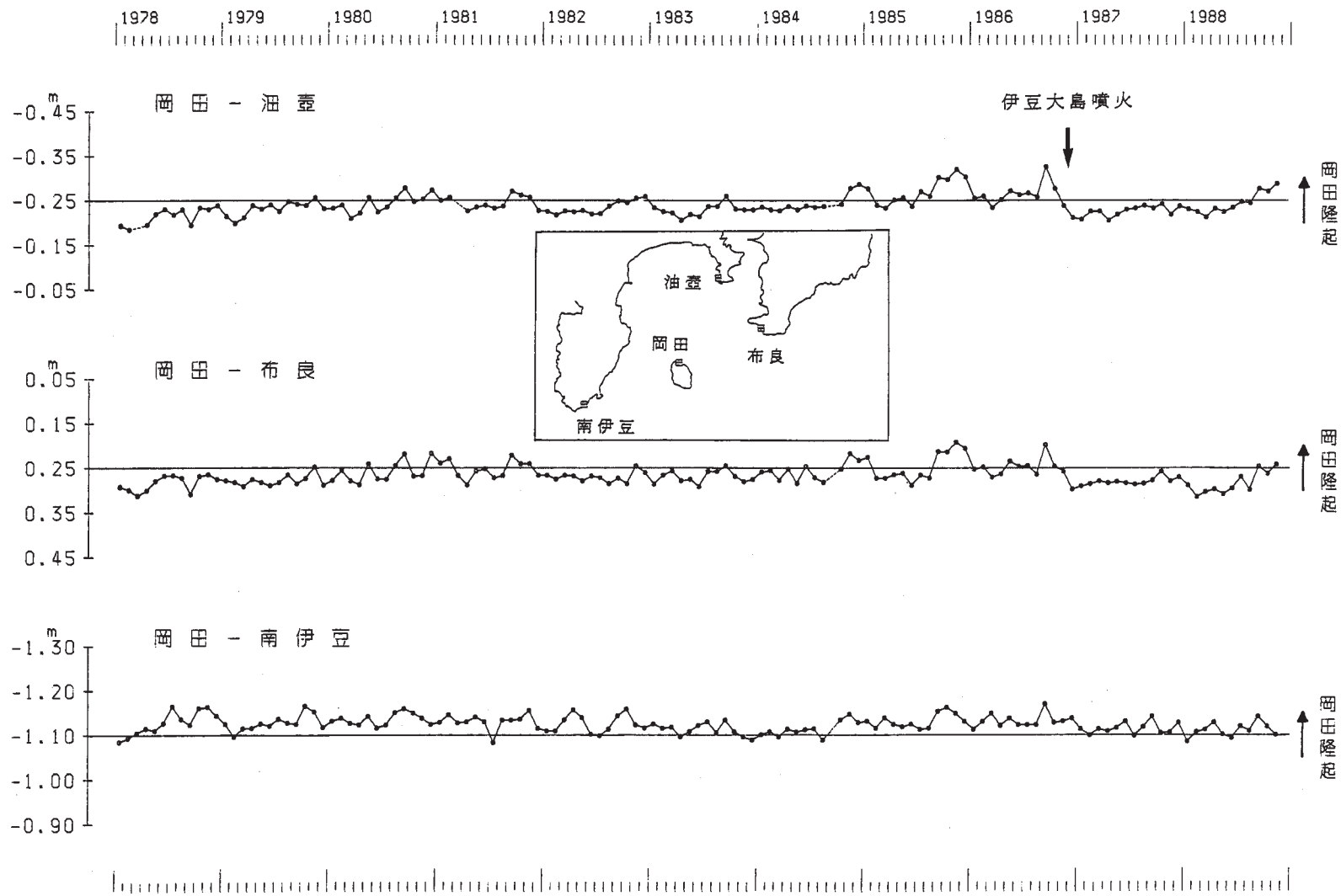
参 考 文 献

- 1) 国土地理院: 伊豆大島の地殻変動, 連絡会報, **40**, (1988), 231 - 236.
- 2) 国土地理院: 伊豆大島の地殻変動, 連絡会報, **41**, (1989), 303 - 308.



第1図 元町～外輪山に至る水準路線の上下変動

Fig. 1 Level change along the route from Motomachi to the caldera rim.



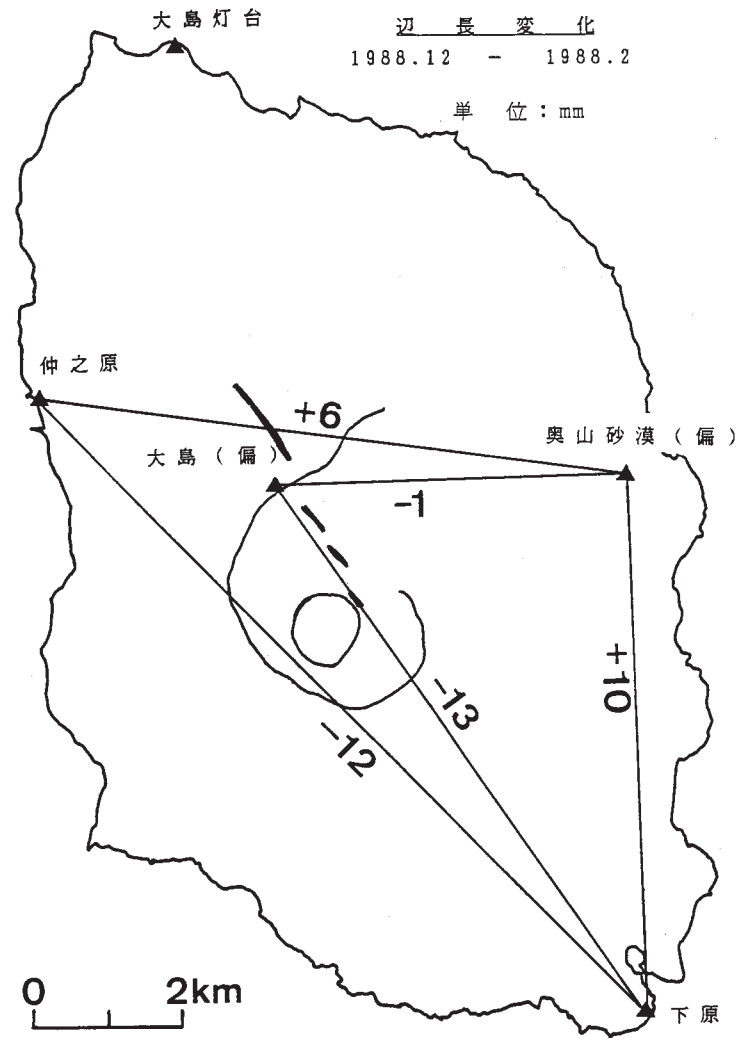
第2図 岡田と油壺・布良・南伊豆験潮場間の月平均潮位差

Fig. 2 Differences in monthly mean sea levels between Okada and Aburatsubo, Mera and Minami-Izu tide stations.

	1988.2	1988.12	1988.12
	m	m	m
大島灯台-仲之原	*	5107.702	*
大島灯台-下原	*	14332.503	*
仲之原-大島(偏)	*	*	3380.127
仲之原-奥山砂漠(偏)	7842.150	*	7842.156
仲之原-下原 [⊕]	11466.129	11466.123	11466.110
大島(偏)-奥山砂漠(偏)	4628.336	*	4628.335
大島(偏)-下原	8621.217	*	8621.204
奥山砂漠(偏)-下原	7204.920	*	7204.930
機種名	マクロメタII	ミニマップ2816	トリップ#4000sx

⊕仲之原-下原の1988.12の辺長は2機種による辺長の平均値を採用した。

国土地理院のGPS測定の精度は、現在までのところ
 $(\pm 10 + 1 \sim 2 \times 10^{-6} D) \text{ mm}$ (D in km)
 である。



第3図 伊豆大島 GPS 測量結果

Fig. 3 Results of the GPS survey in Izu-Oshima.